

平成30年度第5回袖ヶ浦市公民館運営審議会

1 開催日時 平成31年2月8日(金) 午後3時開会

2 開催場所 根形公民館 2階 講義・研修室

3 出席委員

委員長	稲毛 博夫	委員	田中 輝博
副委員長	長崎 容子	委員	齋藤 隆彦
副委員長	大野 俊江	委員	片寄 礼子
委員	小川 幸男	委員	山田 まち子
委員	代田 雅文	委員	鈴木 利夫

(欠席委員)

委員	早川 敦	委員	遠藤 信子
----	------	----	-------

4 出席職員

教育部長	石井 俊一	長浦公民館館長	石橋 健彦
教育部参事	小阪潤一郎	長浦公民館副館長	花澤 吉敬
市民会館館長	溝口 輝	根形公民館館長	平賀 栄三郎
市民会館主幹	大野 正彦	根形公民館副館長	濱崎 雅仁
平川公民館館長	小堀 正雄	平岡公民館館長	在原 徹
平川公民館副館長	佐久間ゆかり	平岡公民館副館長	多田 智子

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 議題

- (1) 平成30年度市民会館・公民館事業の成果と課題について
- (2) 平成31年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策(案)について

7 報告

- (1) 平成31年袖ヶ浦市成人式実施結果について

8 その他

- (1) 第34回袖ヶ浦市生涯学習推進大会について
- (2) その他

9 議 事

稲毛委員長

議題1、平成30年度市民会館・公民館事業の成果と課題について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき、溝口市民会館館長、佐久間平川公民館副館長、花澤長浦公民館副館長、濱崎根形公民館副館長、多田平岡公民館副館長が説明。)

稲毛委員長

ただいまの説明に関しまして、委員の皆様から質問、意見をお受けします。

長崎副委員長

市民会館をはじめ、各公民館でも高齢者教室の受講者の高齢化と固定化が課題としてあります。60歳以上を対象とする講座ですが、年齢の制限のせいか新しい受講者が入ってこないとか、公民館までの交通手段の問題があります。運営委員による企画、運営は素晴らしいが、平川公民館で実施している出前講座や、根形公民館で考えているバスの利用など、課題に対する方針をこれから考えていかなければならないと思います。

また、情報の共有や団体との連携を図ることも対策のひとつで、その必要性も感じます。例えば、地域包括支援センターや警察署、消費者センターなどの公の機関の協力を得た講座の開設もこれから必要になってくると感じました。

次に、各公民館で男性向けの講座が少ないように思います。単発講座でぜひ、環境講座なり男性を対象とした講座を一回ではなく、もっとたくさん実施してほしいと思います。

最後に、花咲け！女性シェフ応援事業について前回もお話ししましたが、参加者が一人ということで、事業の成果と課題について記載がありません。来年度も継続して実施されますが、どのように企画を考え実行していくのか伺います。

溝口市民会館館長

単発講座を数多くということではありますが、なかなか企画もうまくまとまらない状況ですが、一回で多くの人参加と、日ごろ市民会館に足を運ばない方を対象にしたいと考えています。

次に、花咲け！女性シェフ応援事業で参加者が一人というのは、担当者が視察に行ったということでもあります。

今後の事業の予定ですが、今年度は商工会主催による袖ヶ浦市創業塾が開催されました。その中で、女性を対象に市民会館でレストランをやりたいとい

う方があれば紹介していただく形で考えていましたが、今回ターゲットとなるような方はいらっしゃいませんでした。

また、レストランで事業展開するという形になりますと、厨房機器の更新も必要となり100万円単位の費用もかかってきます。試行的な取り組みとして1年でダメだったということではよいのかと考えると難しい状況であります。

長崎副委員長

長浦公民館では、環境講座を廃止するというのですが、環境講座は、男性の関心が強かったと思います。環境講座はなくなってしまうますが、環境に関する内容を他の講座の中に取り入れてほしいと思います。

次に、地域家庭教育学級は課題が多く、PTAだけに頼らず講座生を増やしていく対策を講じていくべきだと考えます。

最後に、わんぱく教室は、長浦地区住民会議「ながうら青空の会」の事業と重複するように思います。講座として多くの事業を小刻みに実施するよりも「ながうら青空の会」とわんぱく教室の合同で実施することも考えなければ、職員や社会教育推進員の負担もかなり大きくなっていると感じるところもあります。改善、見直しについていかなもののでしょうか。

花澤長浦公民館副館長

わんぱく教室の中にもデイキャンプなど、「ながうら青空の会」と合同で実施しているものもごございますのでご理解ください。

田中委員

根形公民館の公民館地域連携推進事業の防災に関する講座について、30年度の参加人数について伺います。

濱崎根形公民館副館長

2月2日に実施し、31名の参加がありました。

田中委員

市民会館の防災に関する講座の参加人数は1名でした。平川公民館は、子ども防災を企画するなどの努力により参加者は多くあったと思います。他の館からノウハウを聞くなど、参加人数を増やそうとはしなかったのか伺います。

溝口市民会館館長

結果として1名でした。市の広報や地区回覧を活用しましたが、原因について分析できない状況です。

田中委員

来年度、防災に関する講座についてどう考えていますか。

溝口市民会館館長

もう少し早い時期に実施したいと考えています。

田中委員

時期的なことが問題ということですね。

次に、根形公民館では、女性セミナーにおいて、講座生の固定化と地域住民の参加が少ないことなどから、自主的で継続的な講座への転換という方向性はよいと思います。他の公民館の各種講座もこういう方向で考えてほしいと思います。

今まで公民館が手を差し伸べすぎていて、講座生はそれが当然という気持ちで参加されていたと思います。これからは、講座生の自主性をもっと活用して自分らで企画し、公民館は場所を提供する、アドバイスをおくる程度にしていかないと、住民の意識は高まっていかないとはいいます。

大野副委員長

女性セミナーの件は、今回、根形公民館から提起がありましたが、この問題はどの館、どの事業にも共通する問題だと思います。ほかの公民館でもそういう動きになるのか、それともどこか一館で試験的に行うものなのか、ほかの館がどう考えているのか分かりませんでした。

平川公民館の庭木の手入れ入門講座は、男性の参加も多くあり継続して頑張っていると感じました。

長浦公民館では、事業の適切な整理と見直しを行っていくということですが、根形公民館の女性セミナーのような形につながっていくのかと感じ、いろんな事業の見直しの時期に入っているのかと思います。

根形公民館は、ねがたオープンキャンパスでの君津市の団体との連携を構築できたことはよかったと思います。また、高齢者の送迎について再検討することですが、館長会議などで協議して統一した見解を持っていただき、全館一律に実施いただけたらよいと思います。

最後に、出前講座はよいと思いますが、出前講座というといきいき百歳体操を実施していますが、全地域で組織ができ上がるまでやっていくのかと思いました。

花澤長浦公民館副館長

長浦公民館は、小中学校が2校ずつ、利用者も多い中で、公民館としてやっている事業もありますが、他の部署でやっている事業、お話のありましたいきいき百歳体操についても、高齢者支援課でピーアールしていますので、そこをコラボ

して広げるといふことと、公民館に來られない方へのアプローチがかみ合うといふことで、お出かけ講座でいきいき百歳体操を実施しています。

今年度、長浦公民館は実施事業が多い中で、何とか事業の充実を図るため、絞り込めるものは絞り込んでいくこととしました。事業の廃止は勇気がいるものですが、今後もまとめられるものはまとめて、あとは伸ばせるものは伸ばしていきたいと考えています。

濱崎根形公民館副館長

根形公民館の高齢者教室の参加者は、飯富地区、下新田地区、のぞみ野地区の方のみで、他の地区の参加者がいないという状況です。

バスの運行について検討したいといふことは、職員の運転による送迎は避けたいといふ中で、運転手付きのバスの利用のほか、路線バスの運行状況、地域に出向いての講座の実施、バスの利用にあつては、添乗する職員が必要となるため職員体制の問題など、総合的に考えていかなければなりません。

また、バスの利用は多く、なかなか日程が合わないといふこともありますが、地域では学びたいといふ高齢者もいます。こうした中、根形地区では、野田地区を除いた地区でいきいき百歳体操を実施しています。この機会を利用して、その場所での出前講座の開催について、そこに参加する方とコンタクトをとり、いきいき百歳体操と併せた出前講座の実施と、公民館で実施している高齢者教室のピーアールも行いたいと考えています。

片寄委員

平成29年度の課題を捉えて30年度事業を実施してこられましたが、30年度の課題が前年度の課題と全く同じ文言で、解決されずそのままとなっています。1年を経過していますので、一歩でも前進してほしいことから、全く同じ文言を課題にしないといふこと、一歩でも前進してほしいと願います。

公民館地域連携推進事業は、28年度から30年度までの3か年実施計画事業でありましたが、それがきっかけでしょうか根形公民館は30年度で終了します。これは5館共通の事業と理解していましたが、特に30年度の根形公民館の公民館地域連携推進事業は創意工夫があつて、このまま継続してもよかつたと思います。5館とのバランス、また、根形公民館が廃止すると決定した経緯について伺います。

濱崎根形公民館副館長

根形公民館では、公民館地域連携推進事業を今年度で終了しますが、その後の事業については、公民館の学級・講座は住民主体のものであつて、講座終了後どのように発展させていくのが課題でした。公民館地域連携推進事業にもそういった面もありましたが、それをさらに発展させた形の地域づくり推進事業を

来年度は予定しています。

その目的は、学習者が自身の問題として課題を取り上げ、その後、自分たちで何らかの活動を実践していくことを目指しています。来年度は、昭和女子大学でローリングストック、非常時に普段の食生活を維持していく取り組みを実践し公開しています。

今回は、昭和女子大学の協力を得てローリングストックについて学びながら、将来的には自分たちでメニュー開発をし、普及していくことを最終目標に掲げ、何年かかけて作り上げていきたいと考えています。

また、学習者による活動が展開できるようになりましたら、その時点で地域の課題となっている事象を講座に取り上げていきたいと考えています。自分たちの活動として目に見える形で実現できればと考えています。公民館地域連携推進事業で積み上げたものをいかして、地域づくり推進事業を試行という形で実施していきたいと考えています。

片寄委員

根形公民館において新規事業として実施されることはいいと思いますが、袖ヶ浦市全体でみた場合、5館共通の公民館地域連携推進事業が1館欠けてしまいます。問題はないか伺います。

溝口市民会館館長

3か年計画事業の4年目ということで、その他の公民館でも今まで行った事業を見直しており、地域づくりにつながる取り組みをしていけば特に問題はないと考えます。

小川委員

地域家庭教育学級及び中学校家庭教育学級は、各学校PTAとの共催、中学校は委託という形で行っていますが、以前から研修委員、とりわけ研修委員長の負担が大きいことが課題でありました。

今年、長浦公民館から、研修委員、教頭に経緯、趣旨説明及び開催可能な講座例等の説明がありました。研修委員長からも助かったとの意見をいただいています。平岡公民館でもPTAとの打合せを行う予定もあり、他の館でもやっているのであれば継続していただきたいし、これからやるのであれば、早い時期に研修委員との打ち合わせをお願いします。参加者を増やすことも重要ですが、PTAの負担を取り除くことも考えていただきたい。

田中委員

住民主体、自主性を発揮できる仕組みをつくってはと言いましたが、一つとして、公民館まつりでは実行委員会が主体となり運営まで持っていけるように進

めていけば、公民館に対する意識も変わり、自覚も出てくると思います。

また、公民館サークル協議会が他市には組織されていると聞いていますが、本市にはありません。協議会があればそれをあてて、協議会で主体的に取り組む仕組みを作る。協議会に入らないと減免を受けられないという条件を付けて、協議会による自主運営に持っていくことで、自主性も高まると思います。利用者懇談会がありますがそのような形になっていないようですので、公民館がサークル協議会を組織して、それを突破口として利用者による自主運営を目指せばよいと考えます。

もう一つは、リーダーが育たないため自主運営に持っていけないこともあります。教育委員会で実施する市民三学大学講座がありますが、受講される方で考えをお持ちの方は吸収が早いと思いますが、ただイベントに参加しているという方は、その場は満足しますが、その後の生活や生き方にどれだけ影響しているのか疑問に思っています。

市原市では市民大学があり、何年かのカリキュラムを修了した方をリーダーとして養成し、自主的な活動につなげています。本市でもそのような取り組みができればよいと思います。

次に、防災に関する講座を行っていますが、避難所となる小中学校での地域の防災訓練はあまり実施されていません。いざという時の運営が難しいと思いますので、学校を会場に実施してはどうでしょうか。

溝口市民会館館長

防災訓練を小中学校で行わないかということですが、避難所については危機管理課が担当しています。公民館は、講座の一部として防災に関する講座を実施しています。実際に小中学校で土曜日、日曜日に地区住民を巻き込んで実施するとなると、年1回実施していますがどうなのかと思います。委員からこのような話があったことは危機管理課へ伝えます。

小阪参事

市民三学大学講座は実施から30年ほどたち、当初は講座生とオープン参加の方が混在していました。また、運営委員制度で実施するなど試行錯誤を続け現在の形となりました。ただ、様々な運営形態があるため参考とさせていただきます。

田中委員

実施から30年たち考え方も変わってきていて、今そういう気運となっていますので、リーダーの育成が必要だと思います。

サークル協議会についてはいかがでしょうか。

濱崎根形公民館副館長

君津市では、サークルが中心となって公民館の利用について話し合いをするサークル協議会が組織されています。

また、袖ヶ浦市では、根形公民館において陶芸サークル協議会が組織され、陶芸窯の運用や修繕などを行っていただけていますが、すべてのサークルによる協議会の設置までには至っていません。

しかし、各館で利用者懇談会を開催し、その中で公民館の設置目的やサークル活動のあり方などについて説明し、利用者に目指すべき活動について考えていただく機会としています。それと併せて公民館の運営について意見をいただく場所としても捉えています。これが発展的にサークル協議会として構築できればよいと思います。しかし、現状は登録サークルとして手続きを円滑に行うための説明会となっています。趣旨に基づいた利用者懇談会を開催し、そこでサークル活動のあり方や、どうやって市の文化活動を盛り上げていくのかなど、話し合う場所をまずしっかりと作っていかねばならないと考えます。利用者の一つひとつ丁寧に話をし、サークル協議会につなげていければと考えています。

田中委員

少しずつ前に進めていかねばならないと思いますので、よろしく願います。

大野副委員長

公民館まつり実行委員会が組織として役割を果たしていないと思います。その中で、実行委員が職員の負担が大きいということを意識し、担ってもらえるようになればよいと考えます。サークル協議会よりもその前に、公民館まつりの実行委員に意識してもらえればよいと審議会委員の事前学習会で話がありました。

一足飛びに利用者協議会の設置というのではなく、実行委員に少し負担をしてもらうことが必要と思います。審議会委員も実行委員に名前を連ねていますので、意見を言っただけであればと考えています。

稲毛委員長

他にないようですので、議題1につきましては終了します。

続いて、議題2、平成31年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料に基づき、溝口市民会館館長が説明。）

稲毛委員長

ただいまの説明に関しまして、委員の皆様から質問や意見がございましたら
お願いします。

大野副委員長

根形公民館のワーキングママ支援講座の内容について伺います。

濱崎根形公民館副館長

現在、平日の日中に家庭教育学級の多くを開催しているため、働いている方は
なかなか参加できない状況です。また、共働き世帯は6割を超える状況で、働い
ている方でも子育てについて学習する機会を設けたいということで計画しまし
た。詳細についてはまだ決まっておりませんが、次回の審議会までには具体化す
ると思いますのでご理解くださいますようお願いいたします。

田中委員

目標3、市民のニーズに応じた市民会館・公民館づくりの公民館運営審議会の
充実について、昨年と同じ文言となっています。審議会を活性化しようとするも
のであり、公民館職員の問題ではなく審議会の問題でもありますので、これにつ
いては審議会の中で検討していこうと思い昨年意見を述べました。記載では、
「公民館運営審議会の意見を反映しながら公民館運営の充実を図ります。」とあ
りますことから、運営審議会の充実という表現ではなく、審議会からの提言を受
けて活性化を図るということで、表現が違うと思いました。それと私たち委員の
考える審議会の活性化についてもう一項目入れていただき、内容については審
議会委員で詰めて提示することはできないでしょうか。

溝口市民会館館長

この内容に追記することは可能です。

稲毛委員長

委員で揉んで入れていただければと思います。

溝口市民会館館長

委員の皆さんに意見をいただいて入れていくということになりますと、委員
への負担もあるかと思いますので考えさせてください。

片寄委員

目標2、市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援のイ、社会教育関係団体の
活動への支援は、公民館登録サークルを対象と考えてよいのか。また、支援の内
容として体験会実施の働きかけとありますが、昨年は市民会館で実施されたと

と思いますが、今回は5館共通で実施すると考えてよいのか。また、具体的内容について個々のサークルの体験会を公民館が企画、実施していくのでしょうか。

大野市民会館主幹

昨年度は、市民会館での実施と記載していましたが、サークル会員の減少は各館共通の課題ですので、共通して実施していこうということです。また、体験会実施の働きかけは、やりたいとか見学したいという方がいれば、日にちの設定や、サークル会員募集の広報そでがうらへの掲載などの支援も行っていきたいと考えています。

片寄委員

弱体化している既存のサークルへのでこ入れということもあるのでしょうか。

大野市民会館主幹

サークルの登録要件を満たさないようなサークルも出てきています。また、やめたいという申し出があったときに、存続するために何らかのアドバイスなどの支援をしていきたいと考えています。

齋藤委員

目標3、市民のニーズに応じた市民会館・公民館づくりの公民館の利用促進において、学習スペースの開放とありますが、図書館とのすみわけと設備の充実や住民への周知についての考えを伺います。

花澤長浦公民館副館長

長浦公民館では、ロビーの一面にテーブルを置いて学習スペースを設け、ホームページで周知しています。暗い場合には、電気スタンドを貸し出しすることを表示しています。図書館が併設していますが利用はあります。ロビーの開放が公民館の利用につながればと考えています。将棋などで利用される方もあり、オープンスペースとして自由に利用いただければいいと考えます。

溝口市民会館館長

市民会館については、ロビーを開放できるスペースは残念ながらございません。しかし、平川、長浦、根形、平岡公民館ではロビーを活用できますことから、総体として記載しました。

次に、図書館とのすみわけにつきましては、図書館も今年度から自習が可能となりました。図書館からは、図書館の学習スペースが満席となった際、市民会館フリースペースを紹介したいがよいかとの問い合わせもあります。

稲毛委員長

質疑がないようですので、議題2につきましては終了します。

続いて、報告1、平成31年成人式実施結果について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき、大野市民会館主幹が説明。)

稲毛委員長

ただいまの説明に関しまして、委員の皆様から質問や意見がございましたらお願いします。

長崎副委員長

障がい者の受け入れについて伺います。以前には福祉施設に入所する方の参加がありましたが、今年は1組であったように記憶しています。減ったのは人数が少なくなったのか、受け入れ体制がどのようになっているのか伺います。

溝口市民会館館長

特に、障がい者の方に対して何かということはありません。袖ヶ浦市では、11月初旬に住民登録をしている方全員に案内状を送付しています。特に障がい者施設に「どうですか」といった問いかけ等はしていません。

濱崎根形公民館副館長

長浦地区に東京都の障がい者施設があり、以前は、施設の方が入所されている方を連れて成人式に出席されていましたが、先ほども説明がございましたが、住民登録のある対象者全員へ案内状を送付しています。

また、同じ日に成人式を開催している施設もあります。受け入れ体制として何か特別なことをするのでもなく、以前と変わりはありません。

長崎副委員長

保護者の参加が年々増えていて混雑していましたが、どこの会場も同じ状況なのか伺います。

溝口市民会館館長

市民会館は、大ホールの2階席を保護者席としていますが混雑する状況はありません。

長崎副委員長

少子化により合同開催にするとか、長浦公民館は午前と午後に分けて開催するのではなく、長浦地区と蔵波地区合同で開催するなど見直しは考えていませんか。職員や社会教育推進員の負担を強く感じましたので、見直しについてはいかがでしょうか。

溝口市民会館館長

そうした話は内部でも出ています。以前は合同で開催していましたが、荒れる状況もありました。アットホームな中で式が進行できますことから、今までの形で実施できればよいと考えています。

花澤長浦公民館副館長

蔵波地区成人式の記念撮影では、並びきれない状況にあります。難しい状況ではありますが、開催方法については、18歳成人と併せて検討しなければならないと思います。

稲毛委員長

他にないようですので、報告につきましては終了します。
最後に、その他、事務局お願いします。

事務局

(大野市民会館主幹が2月16日開催の生涯学習推進大会、2月21日開催の公民館運営審議会委員連絡協議会・君津地方公民館連絡協議会合同研修会、2月25日開催の公民館運営審議会委員連絡協議会・君津地方公民館連絡協議会館長部会合同視察研修会について説明。)

溝口市民会館館長

今年度、5回にわたり慎重審議いただきありがとうございました。来年度に向けて職員一同、頑張ってまいりますので応援方よろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。

稲毛委員長

それでは、以上で予定された議事については、すべて終了しました。慎重審議、ありがとうございました。

午後5時15分 閉会

平成30年度第5回公民館運営審議会

日時：平成31年2月8日（金）

午後3時～午後5時

場所：根形公民館 2階 講義・研修室

次 第

1 開会のことば

2 委員長あいさつ

3 教育部長あいさつ

4 議題

(1) 平成30年度市民会館・公民館事業の成果と課題について

(2) 平成31年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）について

5 報告

(1) 平成31年成人式実施結果について

6 その他

7 閉会のことば

第23期袖ヶ浦市公民館運営審議会委員名簿

No.	氏名	選出区分	備考
1	おがわ ゆきお 小川 幸男	学校教育 小中学校長会代表	3期目
2	しろ た まさふみ 代田 雅文	社会教育 文化協会代表	1期目
3	た なか てるひろ 田中 輝博	社会教育 子ども会育成会連絡協 議会代表	2期目
4	はやかわ あつし 早川 敦	社会教育 音楽協会代表	2期目
5	いな げ ひろお 稲毛 博夫	社会教育 体育協会代表	委員長 7期目
6	さいとう たかひこ 齋藤 隆彦	家庭教育	2期目
7	ながさき ようこ 長崎 容子	学識経験者	副委員長 4期目
8	おおの としえ 大野 俊江	学識経験者	副委員長 4期目
9	かたよせ れいこ 片寄 礼子	学識経験者	2期目
10	やま だ まちこ 山田 まち子	学識経験者	1期目
11	えんどう のぶこ 遠藤 信子	学識経験者	1期目
12	すずき としお 鈴木 利夫	公募委員	1期目

任期 平成30年7月1日から2020年6月30日まで

議題（１）平成３０年度市民会館・公民館事業の成果と課題について

① 平成３０年度市民会館事業の成果と課題

（１）青少年教育推進事業

「子どもチャレンジ教室」「子ども映画会」「世代間交流事業」

○主な学習内容

子どもチャレンジ教室：水の生き物観察会、えんぴつオルガン作り、水墨画による絵はがき教室、いちじくジャム作り、移動教室（鋸山）、どんぐりアート、百人一首体験、レクゲーム

子ども映画会：映画鑑賞

世代間交流事業：自然素材を使ったクリスマスリースづくり、お飾りづくり

○成果

子どもチャレンジ教室では、袖ヶ浦市内の自然や特産品を利用した教室のほか、市内在住の講師による絵はがき教室や百人一首体験などを新たに取り入れ、より幅広い内容の体験を行うことができた。

子ども映画会では、市内の主に昭和地区の子どもたちに対し映画鑑賞をとおり、視聴覚教育と鑑賞マナーの向上を図ることができた。学童保育等への周知を行い、多くの参加者を集めることができた。

世代間交流事業は、クリスマスリースづくりと正月お飾りづくりを１２月に行っており、地区の恒例行事として定着している。

○課題

子どもチャレンジ教室では、講座の出席率は向上したものの、年間の申込者数が減少した。また、昨年と同様に奈良輪小学校児童の申込者数と出席率が低い。新しい内容を取り入れるほか、より子どもたちに見やすく、親しみやすいチラシの作成や、市民会館からやや遠方の奈良輪小学校児童も参加しやすい会場設定などについて、今後検討していく必要がある。

世代間交流事業では、講師の高齢化や事前準備として材料を確保する必要があることから多くの協力者が必要である。

（２）家庭教育総合推進事業

「乳幼児家庭教育学級」「地域家庭教育学級」「中学校家庭教育学級」「親業訓練入門講座」

○主な学習内容

乳幼児家庭教育学級：子育て講座、イクメンレベルアップ、もったいない交換会、アル

バムづくり教室ほか

地域家庭教育学級：エクササイズ、移動教室、ハーバリウム

中学校家庭教育学級：我が家の子育て論、思春期の子どもとの関わり方、移動教室ほか

○成果

乳幼児家庭教育学級は、これまでの2歳児以上を対象とした幼児家庭教育学級から対象を広げて、0歳児の保護者から参加できる教室として、根形公民館と合同で開催した結果、市内全域から申し込みがあり、昨年度と比較して講座生が増加した。内容は、腹話術を交えた子育て講座や、子供用品の交換会と古着のリメイク講座などの子育てに関わる情報を楽しみながら学べるものとした。また、休日に父親に向けた「イクメンレベルアップ」講座を新たに行った。

地域家庭教育学級は、子育てに関する学習機会の提供と同じ世代の子どもを持つ保護者同士の仲間づくりを目的に、運動や創作活動などの講座を開催した。企画・運営を公民館だけでなく各校PTAとも連携を図りながら実施した。

今年度の5館合同講演会は、千葉大学教育学部教授を講師として、「親子の関りについて考えよう」をテーマに、子育てについて参加者どうしが共通の問題を捉えるきっかけとなることを目的に開催した。

中学校家庭教育学級は、企画・運営を中学校PTAに委託し、市民会館とPTAが協働して、スクールカウンセラーによる講義や創作活動などの講座を開催した。

親業訓練入門講座は、子どもとのより良いコミュニケーション方法を学ぶため、グループディスカッションやロールプレイなどの体験学習（訓練）を中心に実施した。受講生からは、「親の役割をはじめ、親としてのあり方、接し方を学べたのが良かった」などの意見が聞かれ、より良い親子関係を作るための知識、技術を学んだ。また、受講生有志により、親業訓練一般講座が開催されるなどとても有意義な内容であった。

○課題

乳幼児家庭教育学級では、0歳から2歳未満の保護者が講座生の過半数を占めた。しかし、保育ボランティアの対象年齢が、安全管理上2歳児以上となるため、子どもと一緒に参加するか、職員と社会教育推進員が保育を行うことがあり、運営や安全面での課題が生じた。講座の参加者は増加しており、また来年度も継続して参加を希望する講座生も見受けられるため、保育や講座の実施方法について検討する必要がある。

(3) 成人教育推進事業

「女性セミナー」「さわやかセミナー」「舞台コーディネーター養成講座」「単発講座」

○主な学習内容

女性セミナー：フォークダンス、男女共同参画セミナー、太巻きずしづくり、ふろしき講座、君津中央病院出前講座ほか

さわやかセミナー：手作りそば打ち、スマホ講座

舞台コーディネーター養成講座：舞台、照明、音響操作講習、総合演習

単発講座：苔玉づくり

○成果

さわやかセミナーは3月の開催予定である。

女性セミナーでは、今年度は「環境」を中心に講座を開催した。太巻きずしづくりに絡めて地産地消を啓発したほか、ふろしき講座ではふろしきの便利さを実感することが出来た。受講生からは、「環境についても気を付けていこうと思います」「家にある布を利用して、包んだり結んだりすることを進め、エコについて考えたいと思います」との意見が聞かれ、環境意識の高揚が図られた。

舞台コーディネーター養成講座は、芸能文化まつりの舞台係を中心に市民会館大ホールの設備の理解と活用について学ぶことができた。

○課題

さわやかセミナーでは、成人男性40歳代から60歳代を対象としているが例年、参加者は60歳以上に偏っており、初対面の参加者どうしの交流も他の講座よりも工夫が必要である。

女性セミナーでは、身近な生活課題や社会課題の中から、年間のメインテーマについて受講生の意見を参考に社会教育推進員とともに設定することとしているが、メインテーマと他のテーマとのバランスなどについても同様に計画することとしたい。

舞台コーディネーター養成講座では、定期利用団体目線の講座内容が必要であり、レベルの高い講座を行っても習得に至るまでが難しい。利用団体のレベルに応じた内容で個別に学ぶ機会を提供するなど工夫が必要である。

(4) 高齢者いきがい促進事業

「昭和ふれあい教室」

○主な学習内容

電話 de 詐欺・交通防犯教室、生き生き百歳体操、ミニ運動会、童謡を唄おう、健康に関する講話、移動教室など

○成果

①積極的に楽しく参加する、②学級生との会話を楽しむ、③教室に入っていない人への声かけ、④やってみたいことがあったら社会教育推進員・職員へ話す、の4つの目標を掲げ、各回、50名ほどの高齢者が楽しく参加することができた。また、ミニ運動会では、東京オリンピック・パラリンピック関連としてパラリンピック種目に挑戦した。高齢者教室では、学級生の高齢化と固定化が課題となるが、昭和ふれあい教室では、地区運営委員の努力により新たな学級生も増えつつある。

○課題

引き続き地区運営委員の協力のもと、新たな参加者の掘り起こしを行う。

(5) 各種行事推進事業

「市民音楽フェスティバル」「芸能文化まつり」

○主な内容

第37回市民音楽フェスティバル：袖ヶ浦市音楽協会との共催で、出演団体より実行委員会を組織し実施した。大ホール、中ホール、フリースペースの3会場で市民が発表し、メインゲストである新日鐵住金君津吹奏楽団によるコンサートを行った。

芸能文化まつり：袖ヶ浦市文化協会との共催。詩吟、カラオケ、フォークダンス、フラダンス、社交ダンスなどの発表のほか、袖ヶ浦市音楽協会、昭和小合唱部の発表を実施。

○成果

市民音楽フェスティバルでは、市民が音楽に触れる機会を設けるだけでなく、各団体による主体的な企画・運営をすることができ、出演者からも来場者からも大変好評であった。

芸能文化まつりは、文化協会所属団体、市民会館登録サークルのほか、音楽協会所属の個人および団体と、昭和小学校も出演した。より多様な内容となり、来場者からも大変好評であった。

○課題

市民音楽フェスティバルについては、出演団体が多く、また楽器類も多岐に渡ることから出演団体ごとの事前確認作業が必要である。表示を貼り出す等、情報共有を密にし、プログラムどおりに非常にスムーズに行うことができたが、次回も工夫しながら行いたい。

芸能文化まつりでは、文化協会所属団体、市民会館登録サークルともに、高齢化等の理由から出演団体が減少した。外部サークルからの出演希望もあるため、今後こうした団体の文化協会や市民会館への登録を促すなどして、より多くの団体が出演できるよう工夫が必要である。また、出演団体が発表の場として終わることなく、団体が活性化する支援や工夫も重要である。

(6) 公民館地域連携推進事業

「地域で取り組む高齢者講座」「防災に関する講座」「スマホ安全教室」「登録サークル等を講師とした講座」

○主な学習内容

地域で取り組む高齢者講座：公民館から遠方の地区に出かけて実施する健康講座

防災に関する講座：防災グッズの作成などの体験

スマホ安全教室：スマートフォンについて興味がある市民を対象とした講座

登録サークル等を講師とした講座：小学生向けの書初め教室

○成果

地域で取り組む高齢者講座は神納まきば台団地にて、レクリエーションを実施した。

防災に関する講座については、袖ヶ浦市災害対策コーディネーター連絡会を講師に実施した。

スマホ安全教室については、3月の開催を予定している。

登録サークル等を講師とした講座は、書道教室を実施し参加者、保護者だけでなく講師からも好評であった。

○課題

各講座とも内容や対象が異なるため比較が難しいが、参加者が多い講座もあり周知前に開催日について問合せがくるものもある。しかし、事業目的である「地域のまちづくり活動へ発展させていくための仕組みを作る」とった工夫を盛り込むまでには至らず、情報の共有や各団体の連携を図る必要がある。

平成30年度市民会館事業実施状況報告

平成31年1月31日現在

No.	事業名	平成30年度 時期・回数	平成30年度 対象・延べ人数	平成29年度 実施回数	平成29年度 延べ人数	
1	青少年健全育成事業	地区住民会議(坂戸の森みどりの会)活動の支援	通年	昭和地区各種団体 22団体	通年	22団体
2		青少年相談員支部活動の支援	通年	昭和地区青少年相談員 14人	通年	14人
3		子ども会育成会支部活動の支援	通年	単位子ども会 8団体	通年	8団体
4		世代間交流事業の支援	12月 1回(全1回)	昭和地区の高齢者と 親子 75人	1回	102人
5		通学合宿の支援	9月24日～ 9月26日 (2泊3日)	昭和地区の小学生 23人	9月18日～ 9月20日 (2泊3日)	29人
6	家庭教育総合推進事業	乳幼児家庭教育学級(うたたねハッピーくらぶ)(根形公民館と合同)	6月～1月 10回(全11回) (1回雨天中止)	就学前の幼児を持つ 保護者 96人	7回	55人
7		地域家庭教育学級	7月～1月 4回(全4回)	昭和地区の小学生の 保護者 125人	4回	103人
8		中学校家庭教育学級	7月～11月 4回(全4回)	昭和中学校生徒の保 護者 64人	4回	54人
9		親業訓練入門講座	10月 2回(全2回)	2歳から高校生までの 子を持つ保護者 32 人	2回	27人
10	青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室	5月～2月 7回(全8回)	昭和地区の小学4年 ～6年生 133人	8回	177人
11		子ども映画会	8月 1回(全1回)	幼児・児童 140人	2回	160人
12	成人式	1月13日	H10.4.2～H11.4.1に 生まれた昭和地区の 新成人 132人	1月7日	137人	
13	利用者懇談会	3月15日予定 2回	定期利用団体	2回	30団体	
14	社会教育推進員活動	通年	社会教育推進員 10 人	通年	10人	
15	公民館地域連携推進事業	地域で取り組む高齢者講座	11月 2回(全2回)	昭和地区の高齢者 9 人	4回	27人
		防災に関する講座	12月 1回(全1回)	昭和地区の方 1人	—	—
		スマホ安全教室	3月 1回	昭和地区の方	1回	20人
		登録サークル等を講師とした講座	12月 1回(全1回)	昭和地区の小学生 35人	1回	33人
16	女性セミナー	6月～1月 7回(全7回)	昭和地区成人女性 111人	8回	152人	

No.	事業名		平成30年度 時期・回数	平成30年度 対象・延べ人数	平成29年度 実施回数	平成29年度 延べ人数
17	成人教育推進 事業	さわやかセミナー	3月 2回	市内在住・在勤の40 ～60歳代の男性30人	3回	47人
18		単発講座	3月 1回	昭和地区の成人	1回	28人
19		舞台コーディネーター養成 講座	1月 2回(全2回)	大ホール利用者及び 一般市民 18人	4回	17人
20	高齢者いきがい 促進事業	昭和ふれあい教室(高齢者 教室)	5月～3月 7回(全8回)	昭和地区の60歳以上 の方 377人	7回	373人
21	まち・ひと・しごと 創生関連事業	花咲け！女性シェフ応援事 業	-	市内で飲食店の起 業・経営を考えている 女性	1回	1人
22	各種行事推進 事業	第31回市民会館まつり (文化協会後援)	11月3日 11月4日 (2日間)	市民 8,101人	11月3日 11月4日 (2日間)	6,609人
		ファミリー劇場	2月10日	市民	2月11日	250人
ロビー展示		通年	文化協会加盟団体等 6団体	通年	7団体	
第37回市民音楽フェスティ バル(音楽協会との共催)		11月25日	市民 1,450人	1回	1,150人	
第31回芸能文化まつり (文化協会との共催)		1月27日	市民 400人	1回	480人	
26	親子deオペラ鑑賞デビュー		5月13日	市民 327人	-	-
27	公民館運営審議会		5月～2月 4回(全5回)	公民館運営審議会委 員 12人	5回	12人

② 平成30年度平川公民館事業の成果と課題

(1) 青少年教育推進事業

「子どもクラブ」

○主な学習内容

夏休みの宿題、川遊び、光るスライムづくり、正月飾りづくりなど

○成果

物づくりなど様々な体験活動を行い、社会教育推進員を講師として夏休みの宿題の進め方や魚の釣り方などを学ぶことができた。子ども達のニーズに合わせて企画した「光るスライムづくり(ひらおか子ども教室共催)」は参加者も多く大好評であった。また、登録サークルを講師として正月飾りを作り、1年を締めくくることができた。

○課題

中川富岡地区および平岡地区の児童を対象としているが、平岡地区の児童の参加が少ない。

(2) 家庭教育総合推進事業

「幼児家庭教育学級(平岡公民館と合同開催)」「地域家庭教育学級」「中学校家庭教育学級」

○主な学習内容

写真講座とドイツ村ハイキング、親子でコンクリート作り、給食センター見学など

○成果

幼児家庭教育学級では、土日開催の講座を実施して父親の参加を働きかけたり、図書館事業(おはなし会)と共催したり、登録サークルにコンサートの開催依頼をするなど内容を工夫しながら実施した。

地域家庭教育学級・中学校家庭教育学級では、公民館とPTAが連携し、少年期の成長に必要な学習内容を取り入れた講座を展開し、保護者間の仲間づくりを深めることができた。

○課題

幼児家庭教育学級では、一人あたりの参加回数が少なく、学習効果や仲間づくりを深めることが難しいため、更なる実施方法や内容の検討が必要になっている。

地域家庭教育学級・中学校家庭教育学級では、PTA役員の参加が大半で、仕事を持ち多忙な母親が多く、PTA役員以外の参加を増やしていくことが難しい。

(3) 成人教育推進事業

「女性セミナー」「ものづくり講座」「園芸講座」「ユースカフェ」「庭木の手入れ入門講

座」

○主な学習内容

骨ナビ、木工（折りたたみテーブル・イス作り）、夏野菜の栽培、鋸山ハイキング、公民館の庭を使った剪定実習など

○成果

女性セミナーでは、体操や軽スポーツ、最近の葬儀とお墓事情、相続についての基礎知識など、健康と生活に役立つ内容で参加者のニーズに沿った学習を提供することができた。

ものづくり講座では、初心者向けに木工教室（お折りたたみテーブル・イスづくり）を行い、参加者は時間を忘れるくらい作業に集中し、完成したときの達成感、ものづくりの喜びを味わうことができた。作業していく中で参加者同士が協力し合い、親睦を深めることができた。

園芸講座では、プランターで種から花を育て、公民館の玄関を華やかに彩った。季節に育てる野菜の栽培等について学習し、身近に緑を感じられる事業展開を行った。

ユースカフェでは、簡単調理をしたり、チバニアンや亀山、鋸山、ドイツ村などの市内外のスポットを巡り、若い世代の親睦を深めることができた。

庭木の手入れ入門講座では、申込者が多く、定員15名を20名に増やして開催した。初心者に必要な知識や技術を学びながら、講座生同士の交流を深めることができた。

○課題

女性セミナーでは、講座生の固定化が見られるため、学習内容がマンネリ化しないよう、住民のニーズを把握し、工夫した内容を検討していく。

園芸講座では、「園芸」の内容が幅広く、参加者によって学びたい内容が異なるため、関連した内容での講座を検討する必要がある。

ユースカフェでは、市外者の参加が多く、市内在勤在住の独身者の参加の広がりが少なかった。主催事業として区切りをつけ、個人の有志の活動に繋げていく形が望ましいと思われる。

（4）高齢者いきがい促進事業

「うぐいす学級」

○主な学習内容

落語講演、レクリエーション、給食センター見学、道の駅巡り、そば打ちなど

○成果

落語講演やレクリエーション活動を楽しみ、給食センターの見学と給食の試食を行い、食の大切さや袖ヶ浦市の給食事情を学ぶことができた。また、講座生を講師としたそば打ちについては、参加者全ての人が協力し合い、良い雰囲気の中でそばの打ち方を学ぶ

ことができた。

○課題

学級生が超高齢化しつつ、参加地区の偏りもあり、地区役員が関わって参加するのは3地区のみとなっている。高齢者お出かけ講座（公民館地域連携推進事業）等で講座の周知活動が必要である。

（6）公民館地域連携推進事業

「高齢者お出かけ講座」「防災に関する講座」「初級パソコン講座」「登録サークル等を講師とした講座」

○主な学習内容

高齢者お出かけ講座：いきいき百歳体操、レクリエーション、警察による講話など

防災に関する講座：防災グッズ作り（段ボールの椅子他）、ゲームなど

初級パソコン講座：パソコンお悩み相談会

登録サークル等を講師とした講座：書き初め教室

○成果

高齢者お出かけ講座では、地区社会福祉協議会と共催で開催し、レクリエーションや百歳体操などを行った。普段公民館事業に参加していない高齢者に事業の周知を図り、地域の交流を深めることができた。

防災に関する講座では、地区住民会議中富ふれあいの会主催のデイキャンプの中で実施し、避難時持ち出しゲームや新聞紙を使った夕食のカレー用の器づくり等を行い、参加した大人から子どもまで多くの人に防災についての知識を広めることができた。

初級パソコン講座では初心者向けに困っていることや疑問に思っていることなど、悩みを個別に解決した。参加者の学びたいことを講師に教えてもらったので、学習効率が良く、パソコンのスキルアップを確実に図ることができた。

登録サークル等を講師とした講座では、書道サークルに講師を依頼し、冬休みに小学生を対象に書き初め講座を開催した。公民館登録サークルの活性化及び学習成果の活用や地域の世代間交流を図ることができた。

○課題

防災に関する講座では、地区住民会議の主催事業と合同で実施したが、地域連携として成人を対象とした防災講座も今後は展開していく必要がある。

平成30年度平川公民館事業実施状況報告

平成31年1月31日現在

No.	事業名		平成30年度 時期・回数	平成30年度 対象・延べ人数	平成29年度 実施回数	平成29年度 延べ人数
1	青少年健全育 成事業	地区住民会議(中富ふれあ いの会)活動の支援	通年	中富地区各種団体 19団体	通年	19団体
2		青少年相談員支部活動の 支援	通年	中富地区青少年相談 員 9人	通年	9人
3		子ども会育成会支部活動 の支援	通年	単位子ども会 5団体	通年	5団体
4	家庭教育総合 推進事業	幼児家庭教育学級 (すまいる学級)	6月～12月 8回(全8回)	2歳から就学前の幼児 を持つ保護者 66人	7回	50人
5		中富地域家庭教育学級	6月～12月 5回(全5回)	中富地区の小学生の 保護者 83人	4回	54人
6		平川中学校家庭教育学級	6月～12月 5回(全5回)	平川中学校生徒の保 護者 80人	5回	83人
7	青少年教育推進 事業	子どもクラブ	5月～12月 7回(全8回)	中富・平岡地区の小 学4～6年生 138人	6回	105人
8	まち・ひと・しごと 創生関連事業	ユースカフェ(青年教室)	6月～12月 5回(全5回)	市内在住・在勤の20 ～40代 49人	5回	40人
9	成人式		1月13日	H10.4.2～H11.4.1に 生まれた中富・平岡地 区の新成人 101人	1月7日	104人
10	利用者懇談会		3月7日 開催予定 1回	登録サークル・定期利 用団体	1回	33団体
11	社会教育推進員活動		通年	社会教育推進員 10 人	通年	10人
12	公民館地域連 携推進事業	高齢者お出かけ講座	2回	中富地区の60歳以上 の方 26人	2回	36人
		防災に関する講座(中富ふ れあいの会デイキャンプと 共催)	8月11日 1回(全1回)	中富地区の小学生 130人	1回	142人
		初級パソコン講座 (パソコンお悩み相談会)	10月18、19 22、23日 4回(全4回)	市内在住・在勤成人 36人	6回	78人
		登録サークル等を講師とし た講座(書き初め教室)	12月26日 1回(全1回)	中川小3年生～6年生 18人	1回	15人
13	成人教育推進 事業	女性セミナー	5月～1月 7回(全7回)	中富地区の成人女性 114人	7回	131人
14	成人教育推進 事業	ものづくり講座	11月28、30日 12月5、7日 4回(全4回)	市内成人 37人	5回	53人

No.	事業名		平成30年度 時期・回数	平成30年度 対象・延べ人数	平成29年度 実施回数	平成29年度 延べ人数
15		園芸講座	5月～2月 3回(全4回)	市内在住・在勤成人 38人	8回	80人
16		庭木の手入れ入門講座 (新)	6月～11月 5回(全5回)	市内在住・在勤成人 80人	—	—
17	高齢者いきがい 促進事業	うぐいす学級(高齢者教室)	6月～2月 6回(全7回)	中富地区の60歳以上 の方 143人	7回	149人
18	各種行事推進 事業	第32回平川公民館まつり	11月10日 11月11日 (2日間)	市民 7,483人	11月11日 11月12日 (2日間)	7,435人
19		ロビー展示	通年	文化協会加盟団体等 14団体	通年	14団体

③ 平成30年度長浦公民館事業の成果と課題

(1) 青少年教育推進事業

「わんぱく教室」「長浦ジュニアお琴・尺八教室」

○主な学習内容

わんぱく教室：ミニ七夕飾りづくり、デイキャンプ、調理実習他

長浦ジュニアお琴・尺八教室：琴、尺八の練習、発表

○成果

わんぱく教室では、子どもたちに自然体験をはじめ様々な体験活動を提供し、参加児童相互の交流を図ることができた。ミニ七夕飾りづくりの際には、参加者が協力して大きな七夕飾りも併せて作成し、長浦公民館ロビーにて展示するなど行った。昨年度に引き続き、季節ごとに募集を行ったことにより、幅広い児童が参加し、子ども達が参加しやすい講座を行うことができた。

長浦ジュニアお琴・尺八教室では、月1回をペースに練習し、公民館まつりなどで、練習の成果を発表した。

○課題

わんぱく教室では、募集方法について工夫を行っているものの、対象児童数に対して申し込み数はあまり芳しくない。引き続き、魅力ある事業展開や募集方法を工夫し、参加者の増加を図る必要がある。

長浦ジュニアお琴・尺八教室では、初心者と経験者のコースを分けて実施している。公民館主催講座として、邦楽に触れる機会として開催し、経験者をサークルに移行していく必要がある。

(2) 家庭教育総合推進事業

「幼児家庭教育学級」「地域家庭教育学級」「中学校家庭教育学級」

○主な学習内容

幼児家庭教育学級：レクリエーション、調理実習他

地域家庭教育学級：施設見学、調理実習、他

中学校家庭教育学級：講演会、施設見学他

○成果

幼児家庭教育学級は、講座の中で参加者同士が会話する機会を増やすためレクリエーションや調理実習を行い、参加者同士の交流が深まった。

地域・中学校家庭教育学級は、子ども理解及び家庭教育充実の一助となった。

○課題

各家庭教育学級の共通の課題として仲間づくりの面では一定の成果を上げていると

考えられるが、子育てに関する知識の習得や学習活動を開催すると出席者が減少する。

幼児家庭教育学級においては、5館合同のチラシやポスターを作成して幼稚園や歯科医院などでの配布や掲示、市の広報紙やホームページに記事を掲載するなど周知活動に努めている。しかしながら講座生が講座内容を取捨選択して参加し、学習活動は欠席するも趣味的な活動には出席する場合があります、工夫を図る必要がある。

地域家庭教育学級は各小学校PTAと共催で講座を行った。今年度初の試みであったため、来年度以降のよりよい講座運営について考える必要がある。

中学校家庭教育学級では、PTA 役員の参加が大半で、仕事を持ち多忙な母親が多く、PTA 役員以外の参加を増やしていくことが難しい。

(3) 成人教育推進事業

「自分の地域は自分でつくる！地域支援づくり事業」「女性セミナー」「男性セミナー」
「環境講座」「健康生き生き塾」「ながうら雑学塾」

○主な学習内容

地域支援づくり事業：溜まり場（全3回）の実施

女性セミナー：運動、調理実習、整理収納の学習他

男性セミナー：ニュースポーツ、調理実習、健康学習他

環境講座：環境学習、先進的な環境活動見学他

健康生き生き塾：軽スポーツなどの運動、健康学習

ながうら雑学塾：歴史、防災気象、健康、食生活など多分野の学習

お正月飾りづくり講習会：正月飾り作成講座

○成果

環境講座では身近な環境を今年度のテーマとし、山野貝塚についての学習や地震・防災気象情報についてなどを学習した。環境問題を身近なこととしてとらえることができた。

健康生き生き塾では、軽スポーツ、あじさいウォーキング、ハーモニー体操を通して体力増進を促しながら講座生同士の仲間づくりを図った。

男性セミナーでは仲間づくりが目的であるため、軽スポーツ（インドア・ローン・ボウルズ）や調理実習などを通じて参加者同士の交流を図った。なかでも最終回に行ったそば打ちは大変好評だった。

女性セミナーでは、運動、料理、生活に関する講座に取り組み、講座生の交流を図った。

ながうら雑学塾では、銚子地方気象台職員による講座や地域の医師による健康講話、また食をテーマに健康について学んだ。移動教室では、国立歴史民俗博物館を見学した。講座生は学習意欲が高く、話題性のあるテーマを取り上げることで学習内容の充実を図

った。

○課題

成人教育推進事業に限定されないが、各事業の整理が求められている。**環境講座**は、環境管理課でも同様の講座が企画されているため、次年度は事業廃止とし、その他の講座の充実を図る。

また、**ながうら雑学塾**と**健康生き生き塾**は合同講座とし、今後も事業を適切に整理し、見直していく。

(4) 高齢者いきがい促進事業

「長浦さわやかスクール」

○主な学習内容

レクリエーション、芸能発表会、防災講話、健康講話他

○成果

市担当職員による防災講話や、木更津警察による消費者講座など生活に役立つ知識に触れる機会を提供した。また、グランドゴルフ大会等では講座の参加者からいきいきとした笑顔が見られ、心豊かで生きがいのある高齢期を過ごすという講座の目的を達成できた。引き続き、生きがい促進のため事業を展開したい。

○課題

不参加が多かった講座については原因などを精査し、参加しやすい環境づくりを行う必要がある。

(6) 公民館地域連携推進事業

「地域で取り組む高齢者講座」「防災に関する講座」「初級パソコン講座」「登録サークル等を講師とした講座」

○主な学習内容

地域で取り組む高齢者講座：おでかけ健康講座

防災に関する講座：防災に関する講話（予定）

初級パソコン講座：ワード操作講習

登録サークル等を講師とした講座：書き初め教室

○成果

防災に関する講座では、防災に関する講話と災害時に役立つ用品作りを行う（予定）。

初級パソコン講座では、ワードの基本操作を学習した。

登録サークル等を講師とした講座では、小学生を対象に書き初め教室を開催し、募集人数を上回る申し込みがあった。

○課題

初級パソコン講座では、様々な要望があるため、参加者のレベルに合わせた内容について検討していく必要がある。また、高齢者であっても、情報化社会では、最低限の知識は必要である。このため、引き続き情報教育に関する学習機会を提供していく必要がある。

平成30年度長浦公民館事業実施状況報告

平成31年1月31日現在

No.	事業名	平成30年度 時期・回数	平成30年度 対象・延べ人数	平成29年度 実施回数	平成29年度 延べ人数	
1	青少年健全育 成事業	長浦地区住民会議(ながう ら青空の会)活動の支援	通年	長浦地区各種団体 19団体	通年	19団体
2		青少年相談員支部活動の 支援	通年	長浦支部青少年相談 員 22人	通年	22人
3		子ども会育成会支部活動 の支援	通年	単位子ども会 5団体	通年	5団体
4		通学合宿の支援	9月24日～ 9月26日 (2泊3日)	長浦・蔵波地区の小 学4～6年生 38人	9月24日～ 9月26日 (2泊3日)	41人
5	家庭教育総合 推進事業	幼児家庭教育学級	6月～12月 7回(全7回)	2歳から小学校就学前 の幼児を持つ保護者 28人	7回	37人
6		地域家庭教育学級	6月～12月 7回(全7回)	長浦・蔵波地区の小 学生を持つ保護者 140人	7回	99人
7		中学校家庭教育学級	6月～2月 9回(全10回)	長浦・蔵波地区の中 学生を持つ保護者 163人	10回	162人
8	青少年教育推 進事業	わんぱく教室	5月～12月 8回(全8回)	長浦小・蔵波小の4～ 6年生 184人	8回	102人
9		長浦ジュニアお琴・尺八教 室	5月～2月 13回(全14回)	長浦小・蔵波小・昭和 小・奈良輪小の4～6 年生 195人	15回	234人
10	成人式	1月13日	H10.4.2～H11.4.1に 生まれた長浦・蔵波地 区の新成人 203人	1月7日	214人	
11	利用者懇談会	2月 1回	各種団体、サークル	1回	64団体	
12	社会教育推進員活動	通年	社会教育推進員 10 人	通年	10人	
13	公民館地域連 携推進事業	地域で取り組む高齢者講 座	3月3日 3月5日	長浦・蔵波地区在住 の65歳以上の方	2回	50人
		防災に関する講座	2月28日 1回(全1回)	市内在住・在勤成人	1回	36人
		初級パソコン講座	1月21日 ～25日 5回(全5回)	市内在住・在勤の成 人 100人	7回	108人

No.	事業名		平成30年度 時期・回数	平成30年度 対象・延べ人数	平成29年度 実施回数	平成29年度 延べ人数
		登録サークル等を講師とした講座(書き初め教室)	12月26日 1回(全1回)	長浦小・蔵波小の3～6年生 30人	1回	25人
14	自分の地域は自分でつくる！地域支援づくり講習会		未定	地域の青少年育成者等	3回	37人
15	成人教育推進事業	女性セミナー	5月～1月 8回(全8回)	長浦地区の成人女性 232人	8回	224人
16		男性セミナー	6月～12月 6回(全6回)	市内在住・在勤成人 男性 67人	6回	57人
17		環境講座	10月～1月 3回(全3回)	市内在住・在勤成人 35人	6回	125人
18		健康生き生き塾	5月～11月 5回(全5回)	40～70代の方(長浦地区優先) 202人	5回	148人
19		ながうら雑学塾	10月～2月 4回(全5回)	成人(長浦地区優先) 89人	5回	161人
20		お正月飾りづくり講習会	12月25日 1回(全1回)	市内在住・在勤成人 23人	1回	23人
21	高齢者いきがい促進事業	長浦さわやかスクール(高齢者教室)	5月～2月 9回(全10回)	長浦地区の60歳以上の方 462人	10回	686人
22	各種行事推進事業	長浦公民館まつり	11月10日 11月11日 (2日間)	市民 8,500人	11月11日 11月12日 (2日間)	7,869人
23		ロビー展示	通年	文化協会加盟団体等 12団体	通年	16団体

④ 平成30年度根形公民館事業の成果と課題

(1) 青少年教育推進事業

「花まる絵画教室」「子ども絵画教室」「ねがたオープンキャンパス (ねこまる)」

○主な学習内容

花まる絵画教室：水彩画制作

子ども絵画教室：水彩画制作

ねがたオープンキャンパス (ねこまる)

通常版：勉強や遊び、パフォーマンス (袖高音楽部)

宿泊体験：流しそうめん、太巻寿司づくり、ナイトミュージアム、花火、テント泊、
カートドッグづくり、まくら投げ

○成果

花まる絵画教室・子ども絵画教室では、公民館まつりで子ども達の作品を発表する場を設けた。花まる絵画教室は、定員16名に対し、37名の申込みがあるなど、人気を博している。(今年度は、抽選の結果、18名を教室生とした。) 子ども絵画教室は、定員16名に対し、18名の申込みがあり、全員を教室生とした。

ねがたオープンキャンパス (ねこまる) は、地元の小学校児童と N.O.C (主に18歳以上の根形地区に関係する若者たちのグループ) 及び登録サークルや地域の高校生、大人が夏休みに勉強や遊びをとおして交流を図ることができた。特に、通常版では、根形中学校生徒6名がボランティアとして新たに参加した。また、宿泊体験では、主に君津市で活動するミライキカクの若者たちの協力を得ることができた。また、今年度も多くの高校生が参加するなど、若者たちの交流の輪が年々広がってきている。

○課題

花まる絵画教室について、ここ数年、抽選で参加者を決定しており、今年度に至っては、2倍以上の申込みがあった。今後、講師及び社会教育推進員に相談したうえで、花まる絵画教室を2回に分けて実施するかどうか次年度検討したい。

また、花まる絵画教室及び子ども絵画教室の両教室の目標として、水彩画を学ぶだけでなく、仲間づくりの面をもっと配慮する必要がある。

ねがたオープンキャンパス (ねこまる) について、今年度参加した中学生ボランティアが、手持ち無沙汰気味になる時間があったので、役割分担を再考する必要がある。

(2) 家庭教育総合推進事業

「乳幼児家庭教育学級」「地域家庭教育学級」「中学校家庭教育学級」

○主な学習内容

乳幼児家教：元保育士による「腹話術で離乳食の話」・パパのイクメンレベルアップ・移

動教室（葛西臨海水族園）・未来のプレゼントアルバムづくり

地域家庭教育学級：ヨガ・移動教室（パナソニックセンター東京リスーピア他）

中学校家庭教育学級：ヨガ・移動教室（JAL 工場見学他）

○成果

乳幼児家庭教育学級は、今年度から市民会館との合同開催とし、年間11回と学級回数を増加して開催したことで、学級生同士が顔を合わせる機会が増え、より交流が深まっているように感じた。また、対象を0歳からと拡大したことで、ロコミ等で参加者が開催中に増加していった。さらに、今年度は、父親向けの学級も新たに取り扱い土日開催を増やしたことで、少数ではあるが、父親の参加も見られた。

地域家庭教育学級は、今年度も小学校PTA文化研修委員と協働で講座を企画するとともに、**中学校家庭教育学級**と合同で実施した。

中学校家庭教育学級は、中学校PTAに委託し、**地域家庭教育学級**と合同で実施した。**地域家庭教育学級**及び**中学校家庭教育学級**を合同で実施していることで、参加した保護者は、より幅広い世代間で交流でき、親睦を深めている。

○課題

乳幼児家庭教育学級は、対象を0歳児からと拡大しており、今年度は、23名の学級生がおり、0歳から2歳未満児は15名の参加があった。（2歳以上は16名）

保護者のみで活動したい、リフレッシュしたいとの要望もあり、2歳未満の保育のできない乳幼児を職員及び社会教育推進員でみなければならず、安全面からも開催は無理があった。

地域家庭教育学級及び**中学校家庭教育学級**は、研修委員長の負担が大きい。また、打ち合わせも研修委員長のみとしており、他の委員との交流がなかった。学級生を随時募集しているが、PTA研修委員以外の参加が少ない。仕事をしている保護者を考慮すると、事業の周知時期が遅かった。

（3）成人教育推進事業

「女性セミナー」「成人絵画教室」「地域再発見講座」

○主な学習内容

女性セミナー：軽スポーツ・減塩の食事（調理実習）・整理収納講座・移動教室（イングリッシュガーデン他）・ねがたをもっと知ろう（山野貝塚周辺ウォーキング）・スーパーフードを知ろう

成人絵画教室：デッサン・静物写生（野菜・果物・花瓶・花等）・自画像・クロッキー・風景写生・移動教室（国立西洋美術館・上野動物園）

地域再発見講座：袖ヶ浦市の文化財の保存と活用・袖ヶ浦市指定文化財をめぐる・移動教室・江戸時代の村と百姓（千葉県文書館出前講座）

○成果

女性セミナーは、普段の生活をワンランクアップできる内容で実施した。

日頃の運動や食事に気を付けることや、取り入れたら良い食材などを学び、健康管理について意識付けをすることができた。また、根形地区にある国指定史跡の山野貝塚や周辺遺跡を歩いて巡ることで、普段は気づかない地域の魅力発見につながった。

成人絵画教室は、講座生19名で、水彩・油彩などの基礎を学び、公民館まつり及びサークル作品展での展示作品制作を中心に活動した。今年度は、身近にある郷土博物館施設内の旧進藤家住宅や古代住居、万葉植物園などの風景写生にも取り組み、技術を磨きながら、教室生同士の交流も図ることができた。

地域再発見講座は講座生24名で、今年度は、袖ヶ浦市の指定文化財をテーマに学習した。また、実際に現地を訪ね、滝の口の小高神社では、管理者の厚意により本殿、拝殿内を見学することができ、普段では見ることのできない文化財を間近に観察することができた。

○課題

女性セミナーは、講座生の固定化が顕著であり、また根形地区在住の講座生が少なく、公民館主導での講座運営となっており、内容についても、個人的な生活課題について取り上げていることから、その後の自主的、継続的な活動、地域の課題解決へ取り組むという流れができていない。

成人絵画教室は、現在根形公民館で活動する絵画サークルは5団体で、「成人絵画教室」の卒業生がサークルに入ることで、または、自主的な活動が引き続き行えるようにバックアップをしていくことが必要である。

地域再発見講座は、講座生の関心が多様で、共通の学習テーマを設定することが難しい。根形地域に目を向けたフィールドワークについて考えてもよい。

(4) 高齢者いきがい促進事業

「根形ニコニコ教室」

○主な学習内容

袖ヶ浦いきいき百歳体操、健康講座（冬健康管理）、移動教室、消費者教室（高齢者を狙った詐欺）、かずさクリーンシステム見学、映画鑑賞会、お楽しみ演芸会、交通安全教室

○成果

健康講座は、毎年、根形地区を担当する保健師を講師として実施しているため、参加者一人ひとりの状況を把握している。そのため、相互の距離が近く、真剣に、かつ、楽しく学習する機会となっている。

○課題

運営委員（高齢者）が何度も自家用車で学級生を送迎する姿が見受けられる。事故防止と参加したいという学習欲求を実現するために、運転手付きの小型バスの利用について再検討したい。

（５）各種行事推進事業

「サークル作品展」

○主な内容

芸術系の根形公民館登録サークルと成人絵画教室・陶芸教室による絵画・陶芸・書・生け花・表装の作品展。

○成果

サークル活動と成人絵画教室・陶芸教室の1年間の成果発表として3月に実施している。サークル代表者による実行委員会が主催となり、会場設営・展示作業・当日の受付等をサークルの会員が担当する。参加者の技術向上とこれまでの活動が周知されたことにより、来場者も増加している。今年度は3月16日（土）～3月24日（日）に開催する。

○課題

現在事務局として公民館が負担している作業について、実行委員会に移行できるものがないか実行委員と協議していく必要がある。

（６）公民館地域連携推進事業

「地域で取り組む高齢者講座」「防災に関する講座」「スマホ安全教室」「登録サークル等を講師とした講座」

○主な学習内容

地域で取り組む高齢者講座：おでかけ講座（いきいき百歳体操）

防災に関する講座：避難所体験会

スマホ安全教室：高齢者を対象としたスマートフォン・携帯電話による災害伝言板の活用とトラブル防止

登録サークルを講師とした講座：出張演奏会、書き初め教室

○成果

地域で取り組む高齢者講座は、2月1日（金）に、野田公民館で袖ヶ浦いきいき百歳体操説明会及び体験会を行った。対象は、野田区住民で、高齢者支援課と連携し実施した。この説明会及び体験会をとおして、袖ヶ浦いきいき百歳体操が野田区でも浸透することを目指すとともに、野田区住民と公民館との交流の機会づくりも目指している。

防災に関する講座は、2月3日（日）に、避難所体験会を行う。対象は、市内在住・

在勤者で、危機管理課協力のもと実施する。この体験会は、“場所”を特に意識し、参加者自らが避難所運営を体験する。また、関連事業として、3月2日（土）に、炊き出し体験会を行う。炊き出し体験会は、“食”を意識し、被災後に食する備蓄倉庫内の非常食の試食、カマドを活用した炊き出し体験を行う。両体験会をとおして、参加者の“防災”意識を高め、さらに地域一丸となって避難所生活に取り組む姿勢づくりを目指す。

スマホ安全教室は、スマートフォンとケータイの違いや料金といった基本的事項、災害用伝言板の活用法、詐欺などのトラブルに巻き込まれないためにどう行動するかなどを講義形式で行った。参加者からは、話がわかりやすく、参加して良かったとの声が挙がっていた。

登録サークル等を講師とした講座は、「出張演奏会」と「書き初め教室」を実施した。

出張演奏会は、根形保育所で実施し、上総シニアアンサンブルが園児向けにクリスマスソング等を演奏した。音楽に合わせて歌ったり、踊ったりする子どもも多く、「楽しかった！また来て欲しい」という声が子どもたちから挙がり、上総シニアアンサンブルからは、子どもたちからたくさん元気をもらった。今後もこういった地域と交流していきたいとの声が挙がった。

書き初め教室は、対象を小学校3年生から6年生とし、根形公民館登録サークルの根形書友会が講師となり、子どもたちを指導した。「宿題が終わり良かった」といった声が挙がるなど、子どもたちのニーズが高い事業である。

○課題

公民館地域連携推進事業は、今年度をもって終了する。高齢人口の増加への対応、サークル活動の活性化など、本事業をとおして見えてきた課題を、次の講座へと活かしていきたい。

平成30年度根形公民館事業実施状況報告

平成31年1月31日現在

No.		事業名	平成30年度 時期・回数	平成30年度 対象・延べ人数	平成29年度 実施回数	平成29年度 延べ人数
1	青少年健全育 成事業	地区住民会議(根っ子の 会)活動の支援	通年	根形地区の各種団体 20団体	通年	20団体
2		青少年相談員支部活動の 支援	通年	青少年相談員根形支 部 8人	通年	8人
3		子ども会育成会支部活動 の支援	通年	単位子ども会 6団体	通年	6団体
4	家庭教育総合 推進事業	乳幼児家庭教育学級 (うたたねハッピーくらぶ)	6月～1月 10回(全11回) (1回雨天中止)	0歳から就学前の幼児 を持つ保護者 96人	8回	73人
5		地域家庭教育学級	6月～2月 4回(全5回)	根形地区の小学生の 保護者 35人	5回	56人
6		中学校家庭教育学級	6月～2月 4回(全5回)	根形中学校生徒の保 護者 41人	5回	39人
7	青少年教育推 進事業	花まる絵画教室	6月～12月 6回(全6回)	市内小学1年～3年生 98人	6回	93人
8		子ども絵画教室	5月～2月 8回(全9回)	市内小学4年～6年生 122人	9回	107人
9		ねがたオープンキャンパス (ねこまる)	①8月 8日 ～10日 ②8月25日 ～26日 計5日間	N.O.C、根形地区の 青少年及び登録サー クル会員等 305人	4回	321人
10	成人式		1月13日	H10.4.2～H11.4.1に 生まれた根形地区の 新成人 51人	1月7日	43人
11	利用者懇談会		3月 1回	定期利用団体	1回	29団体
12	社会教育推進員活動		通年	社会教育推進員 10 人	通年	10人
13	公民館地域連 携推進事業	地域で取り組む高齢者講 座	2月 1回	根形地区の60歳以上 の方	2回	142人
		防災に関する講座	2月 1回	市民	1回	17人
		初級パソコン講座 (スマホ安全教室)	12月 1回	市内高齢者 8人	1回	10人
		登録サークル等を講師とし た学級や講座	12月 2回	根形保育所・根形小 児童 132人	1回	28人
14		女性セミナー	5月～2月 7回(全7回)	根形地区成人女性 138人	8回	128人

No.		事業名	平成30年度 時期・回数	平成30年度 対象・延べ人数	平成29年度 実施回数	平成29年度 延べ人数
15	成人教育推進 事業	成人絵画教室	5月～2月 9回(全10回)	市内在住・在勤成人 143人	10回	162人
16		単発講座 (移動絵画教室)	3月 1回	市内在住・在勤成人	1回	31人
17		地域再発見講座	5月～3月 5回(全8回)	市内在住・在勤成人 70人	7回	150人
18	高齢者いきがい 促進事業	根形ニコニコ教室(高齢者 教室)	5月～2月 9回(全10回)	根形地区の60歳以上 の男女 277人	9回	296人
19	各種行事推進 事業	第32回根形公民館まつり	11月3日 11月4日 (2日間)	市民 8,503人	11月4日 11月5日 (2日間)	10,689人
20		ロビー展示	通年	文化協会加盟団体等 12団体	通年	13団体
21		根形公民館サークル作品 展	3月	根形公民館で活動す る美術・工芸関係サー クル等	3月17日～ 3月25日	24団体

⑤ 平成30年度平岡公民館事業の成果と課題

(1) 青少年教育推進事業

「ひらおか子ども教室」

○主な学習内容

星空観察会、化石発掘体験、光るスライムづくり、国際理解講座（英語）、万華鏡づくり

○成果

星空観察会・化石発掘体験・光るスライムづくりなど、特色のある学習を実施することができた。普段触れる機会が少ない体験学習を実施したことで、参加児童にとっては新たな興味をもったり、発見する機会となった。

○課題

例年、平岡小、中川小を中心に募集チラシを配布していたが、本年度は、市内の希望する児童が参加できるよう「広報そでがうら」に募集記事を掲載し、講座開催の周知と募集に努めた。参加対象の児童が少ない平岡地区だが、今後も興味関心の高い内容を計画して、子どもたちの学ぶ意欲、体験する意欲を育てていきたい。広報については、平岡小、中川小へのチラシ配布と併せ、本年度行った「広報そでがうら」への掲載を継続する。

(2) 家庭教育総合推進事業

「幼児家庭教育学級（平川公民館と合同開催）」「ひらおか地域家庭教育学級」

○主な学習内容

幼児家庭教育学級：茶話会・レジンアクセサリ作り、絵本の読み聞かせ、ボディジェル・バスボム作り、調理実習、移動教室、子どもの写真を上手に撮ろう、5館合同講演会（テーマ：子育て）、クリスマス料理・クリスマス演奏会

ひらおか地域家庭教育学級：茶話会・ディンプルアートの小物づくり、移動教室、親子で作る！木工貯金箱またはリース作成、5館合同講演会（テーマ：親子の関わりについて考えよう）、給食センター見学、調理実習

○成果

幼児家庭教育学級は、参加者のニーズの高い雑貨作りや調理を中心に行い、講座生同士の交流を深めることができた。

ひらおか地域家庭教育学級は、学級生制度を廃止し各回全保護者を対象にチラシの配布を行ったことにより講座の認知が増えた。

○課題

幼児家庭教育学級は、講座生の数に対して一回あたりの参加人数が少なく、仲間づく

りを深めることが難しい。次年度以降は講座生の増加を図るため、周知の方法について考えていきたい。

ひらおか地域家庭教育学級は、平成27年度から平岡小学校PTAと連携した学級運営に向けた取り組みを行っているが、役員交代の際に公民館事業の協力についての引継ぎが十分されていなかったように見受けられ、年度当初に戸惑われるケースが多かった。そのため今年度はPTA総会に出席し事業についての説明を行った。今後は、早い段階で新PTAと打合せを行い、就労している保護者でも参加できるよう、試行的に土、日曜日の開催について検討していきたい。

(3) 成人教育推進事業

「国際理解セミナー」「わくわく女性倶楽部」「ひらおかハッピータイム(地域交流事業)」「有害鳥獣に係る講習会」

○主な学習内容

国際理解セミナー：メキシコの文化と歴史、ヨルダンの暮らし、ミャンマーの生活・文化、世界の子どもたち、中国の食文化

わくわく女性倶楽部：歌声広場、健康講座、折り紙、調理実習、議会傍聴、移動教室、正月飾り作り、レクリエーション

ひらおかハッピータイム(地域交流事業)：竹細工と流しそうめん

有害鳥獣に係る講習会：有害鳥獣の生態と対策

○成果

国際理解セミナーは、様々な分野で活動している講師を招き、ワークショップや調理実習など体験型講座も取り入れて、私たちが知らない外国の生活や文化について学び、国際理解をより深めるための学習の場を市民に提供することができた。新たな講座生も増えつつある。

わくわく女性倶楽部は、全8回のうち2回を「ひらおかシニアセミナー」と合同で開催するなど、各講座生の交流を図ったほか、調理実習や移動教室など参加者の意見を取り入れ、様々な学習内容を提供することができた。

ひらおかハッピータイム(地域交流事業)は、平岡地区の世代間交流を図るため、夏休みに期間中に竹細工と流しそうめんを行った。楽しく和やかな雰囲気の中、世代を超えて交流することができた。

有害鳥獣に係る講習会は、有害鳥獣の生態や農地や生活環境を守るための対策についての学習を、農林振興課と共催で提供することができた。

○課題

国際理解セミナーは、市民のニーズを把握し、市民が興味を持っている国や学習分野についての検討が必要である。

わくわく女性倶楽部は、閉講式で参加者から、非常に満足しているという声をいただいた。今後も、本講座のテーマ「食事・健康・趣味・仲間づくり」を意識した講座の充実に努め、あらゆる手段での広報活動を行い、新規受講生の獲得を行っていききたい。

ひらおかハッピータイム（地域交流事業）は、従前、日曜日開催で子どもの参加が困難であるとの声を反映し、夏休み期間中に実施した。しかしながら、参加者に大きな変動がなかったため、開催日・内容についての検討が必要である。

有害鳥獣に係る講習会は、地域課題となっている点に着目し開催したが、生態について重点をおいた学習であったことや全回を通しての参加が条件であったため、参加者が少なかった。今後、開催する場合は、対策や地域全体で取組むための方策を中心とした学習にする必要がある。

（４）高齢者いきがい促進事業

「ひらおかシニアセミナー」「男性のための料理教室」

○主な学習内容

ひらおかシニアセミナー：歌声広場、健康講座、終活講座、太極拳、草木染め、ウォーキング、調理実習、移動教室、救急法

男性のための料理教室：アジフライ・かぼちゃのミルク煮 他

○成果

ひらおかシニアセミナーは、全9回のうち2回を「わくわく女性倶楽部」と合同で開催し、各講座生の交流を図りつつ、バラエティーに富んだ学習機会を提供した。歌声広場・太極拳・草木染め・ウォーキングなどの体験型の学習内容も取り入れて、参加者が興味を持てる学習機会を提供した。

男性のための料理教室は、料理の経験が少ない男性を対象に、食事や健康への関心を高めてもらい、楽しみながら料理を行うことができた。

○課題

ひらおかシニアセミナーは、講座生の高齢化・減少化に加えて、男性学級生の減少のため、男性学級生が参加しにくい雰囲気になっている。平岡地域の男性高齢者のニーズを把握するなど、男性学級生の増加に努める必要がある。

男性のための料理教室は、参加者が毎年度固定化傾向にあるため、講座内容を身近にある材料で簡単にできる献立にするなど、気軽に参加できるような工夫が求められる。

（５）各種行事推進事業

「サークル発表会」

○主な内容

芸能サークル発表（ハーモニカ、オカリナ演奏、銭太鼓、スクエアダンス、社交ダン

ス)

○成果

昨年度まではサークル交流会として行っていたが、サークル同士の交流のきっかけとするという初期の目的を達したことから趣旨を変更した。文化・スポーツまつり以外に芸能サークルの発表機会を提供することで学習意欲を高め、サークルの活動を促進することを目的に、今年度からサークル発表会として開催することとした。

○課題

平岡公民館登録サークル22団体のうち、参加団体が5団体に留まっている。また、観覧者が少ないため、来年度は周知の方法の改善、参加団体からの口コミなどで観覧者を増やせるよう取り組んでいきたい。

(6) 公民館地域連携推進事業

「地域で取り組む高齢者講座」「防災に関する講座」「スマホ安全教室」「登録サークル等を講師とした講座」

○主な学習内容

地域で取り組む高齢者講座：袖ヶ浦いきいき百歳体操

防災に関する講座：防災講座（平岡地区防災訓練と共催）

スマホ安全教室：シニア スマホ・ケータイ安全教室（高齢者対象）

登録サークル等を講師とした講座：子ども書き初め教室

○成果

地域で取り組む高齢者講座は、岩井地区・上泉区を対象に、市で推奨している「袖ヶ浦いきいき百歳体操」の説明会と実演を行うことで、百歳体操に興味を持つきっかけづくりが期待できる。

防災に関する講座は、平岡地区防災訓練との共催で防災に関する基礎講座を行い、参加者の防災意識を高めることができた。

スマホ安全教室は、スマホ・携帯電話による犯罪やトラブルに巻き込まれないため、また災害時に身を守るポイントなどを学ぶことによって、情報教育に関する学習機会を提供する。

登録サークル等を講師とした講座は、地域の書家に講師をお願いし、子ども書き初め教室を実施した。平岡小学校1～6年生が参加し、冬休みの課題である書初めを講師の指導の下、熱心に取り組んでいた。良い作品を仕上げることができ、参加者、保護者から好評を得た。

○課題

地域で取り組む高齢者講座については、袖ヶ浦いきいき百歳体操は継続して続けることで効果を発揮するので、物品（イス）の貸与や公民館の部屋の提供など、百歳体操の

自主的な活動を支援していく必要があると思われる。

防災に関する講座は、今年度は地区別防災訓練との共催によって、平岡地区の各自治会に参加を要請したが、現状として、大雨で避難勧告が出されていても公民館へ避難してくるような住民が少ないことから、このような講座を毎年度開催し、防災に関する意識を高めてもらうよう講座の内容や開催方法について検討していきたい。

スマホ安全教室は、高齢者であっても、情報化社会では最低限の知識は必要であり、より多くの方が受講できるよう、来年度の実施を検討したい。

登録サークル等を講師とした講座は、中学生も書き初めの宿題を行いたいというニーズもあったので、来年度は、小学生・中学生の2本立て講座（青少年教育推進事業での開催を検討）の開催を検討したい。

平成30年度平岡公民館事業実施状況報告

平成31年1月31日現在

No.	事業名	平成30年度 時期・回数	平成30年度 対象・延べ人数	平成29年度 実施回数	平成29年度 延べ人数	
1	青少年健全育 成事業	地区住民会議(名幸ヶ丘の 会)活動の支援	通年	平岡地区各種団体 18団体	通年	18団体
2		青少年相談員支部活動の 支援	通年	平岡支部青少年相談 員 11人	通年	11人
3		子ども会育成会支部活動 の支援	通年	単位子ども会 9団体	通年	9団体
4		通学合宿の支援	7月8日～ 7月10日 (2泊3日)	平岡地区の小学生 27人	7月2日～ 7月4日 (2泊3日)	46人
5	家庭教育総合 推進事業	幼児家庭教育学級 (すまいる学級)	6月～12月 8回(全8回)	2歳から就学前の幼児 を持つ保護者 66人	7回	50人
6		ひらおか地域家庭教育学 級	6月～2月 5回(全6回)	平岡小学校児童の保 護者 87人	6回	54人
7	青少年教育推 進事業	ひらおか子ども教室	7月～3月 4回(全6回)	市内小学生 41人	5回	86人
8	成人式		1月13日	H10.4.2～H11.4.1に 生まれた平川地区の 新成人 101人	1月7日	104人
9	利用者懇談会		3月7日 1回	定期利用団体	1回	21団体
10	社会教育推進員活動		通年	社会教育推進員 10 人	通年	10人
11	公民館地域連 携推進事業	地域で取り組む高齢者講 座	1・2月 1回(全2回)	平岡地区の65歳以上 の方 16人	2回	30人
		防災に関する講座(危機管 理課と共催)	12月2日 1回	平岡地区の市民 48 人	1回	45人
		初級パソコン講座 (スマホ講座)	2月12日 1回	市内在住・在勤の65 歳以上の方	1回	9人
		登録サークル等を講師とし た講座	12月23日 1回	平岡地区の小学生 15人	1回	19人
12	成人教育推進 事業	わくわく女性倶楽部	5月～1月 8回(全8回)	平岡地区の成人女性 127人	8回	117人
13		国際理解セミナー	10月～2月 4回(全5回)	市内在住・在勤一般 成人 68人	5回	69人
14		ひらおかハッピータイム (世代間交流事業)	8月22日 1回	子どもから大人まで 11人	2回	19人
15		有害鳥獣対策講座	9月～11月 3回(全3回)	平岡地区の市民 18 人	—	—
16	高齢者いきがい 促進事業	ひらおかシニアセミナー(高 齢者教室)	5月～2月 8回(全9回)	平岡地区の60歳以上 の方 131人	9回	174人

No.	事業名		平成30年度 時期・回数	平成30年度 対象・延べ人数	平成29年度 実施回数	平成29年度 延べ人数
17		男性のための料理教室	10月14日 1回(全1回)	平岡地区の成人男性 14人	1回	15人
18	各種行事推進 事業	平岡公民館文化・スポーツ まつり	11月3日 11月4日 (2日間)	市民 7,640人	11月4日 11月5日 (2日間)	7,334人
19		ロビー展示	通年	文化協会加盟団体等 8団体	通年	7団体
20		サークル発表会	6月23日 1回	定期利用団体地域住 民 45人	1回	62人

平成３１年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）

1. 経営方針

市民会館・公民館は、第２期教育ビジョンの基本目標である「明日を拓く 心豊かな たくましい 人づくり」の実現に向け、「地域」「子ども」「市民」の視点から、「学び つながり 支えあう教育」を推進します。

そのために、地域の持つ課題や多様化し複雑化する社会の変化に応じた課題を十分に把握して、市民、学校をはじめとした関係機関、各種団体及び社会教育推進員等との幅広い連携・協働により、市民の生活や暮らしを豊かにする学習活動を展開します。

また、「袖ヶ浦市みんなが輝く協働のまちづくり条例」の趣旨に基づき、各種事業の実施にあたっては、社会教育関係団体や地域団体などの各種団体、NPO、学校、行政、企業等と幅広く連携・協働し、つながりづくりを推進します。

2. 重点施策

市民会館・公民館は、「地域」「子ども」「市民」に対し今後取り組まなければならない目標を定め、これを遂行するための施策の方向性を重点施策として社会教育の充実を図ります。

目標１：地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

①学校・家庭・地域の連携強化による地域の教育力の向上を図ります

(7) 地域で子どもを守る体制づくり

地域で子どもの安全を守るため、子ども安全パトロールなどの取り組みを行う地区住民会議及び青少年相談員の活動を支援します。

(4) 子どもたちの体験・交流活動等の場づくり

子どもたちの異年齢による体験・交流活動を行う青少年相談員、子ども会育成会、地区住民会議及び社会教育関係団体等の諸活動を支援します。

②家庭の教育力の向上を図ります

(7) 家庭の教育力向上のための支援

子育てに関する学習を通して、同じ世代の子どもを持つ保護者の交流を促進することを目的に、子どもの発達段階に応じた家庭教育学級を開催します。

さらに、より多くの保護者への学習機会の提供と家庭教育学級のPRを兼ねて、

子育てに関する合同講演会を公開講座として引き続き開催します。

また、関係機関・団体との連携・協働を促進するとともに、学習内容の充実と子育てに関する情報の提供に努めます。

平川公民館と平岡公民館では、「幼児家庭教育学級」を合同で、市民会館と根形公民館では、「乳幼児家庭教育学級」を合同で、引き続き開催して参加者同士の交流を進めます。

根形公民館では、新たに「ワーキングママ支援講座」を開催し、働くことを考えている方や、働いている方を対象とした学習機会を提供します。

(イ) 子育て支援体制の充実

ホームページや館報を活用して、家庭教育学級の活動の紹介や子育てサークル等に関する情報提供の充実を図ります。

③地域の拠点づくりを推進します

(ア) 公民館における青少年事業の充実

子どもたちに不足しているといわれている自然体験・社会体験などの機会を提供することにより、集団での活動などをおして、自ら学び、自ら考え、問題を解決する力や協調性・思いやりなど「生きる力」を育みます。

また、ファミリー劇場を市民会館まつりの一部としての位置付けから、市内全域を対象とした独立した事業として実施します。

市民会館では、「子どもチャレンジ教室」を、長浦公民館では「わんぱく教室」を、平川公民館では、「子どもクラブ」を引き続き地域の小学生を対象に開催し、様々な体験活動などの機会を提供します。

根形公民館では、小学生を対象に「花まる絵画教室（低学年）」や「子ども絵画教室（高学年）」を実施し、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、積極的にその活動を周知します。

また地域の若者と協働で、将来、地域を担う仲間となる青少年が集い、交流し、育ちあう場所となる「ねがたオープンキャンパス（ねこまる）」を開催します。

平岡公民館では、様々な体験の機会を提供するとともに、外国の文化や歴史に関心を持つように、市内小学生を対象にした「子ども教室」を実施します。

(イ) 地区住民会議への支援

通学合宿・デイキャンプ・世代間交流事業や子ども安全パトロール等、地域で青少年の健全育成に取り組む地区住民会議への支援を引き続き実施します。

また、長浦公民館では、長浦地区住民会議ながうら青空の会とともに「自分の地域は自分でつくる！地域支援づくり事業」を通して、地域住民自らが生活課題をはじめとする地域課題に取り組みやすくする仕組みづくりの支援を継続して実

施します。

目標2：市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援

①生涯学習推進体制の充実を図ります

(7) 生涯学習に関する情報の収集と活用の推進

生涯学習に関する情報を収集し、学習相談への対応を図ります。また、広報そでがうらやホームページ、館報等により、公民館活動や学習情報の広報を積極的に進めます。

(4) 社会教育関係団体の活動への支援

利用者懇談会を開催し、市民会館・公民館の経営方針や事業運営についての理解を図るとともに、公民館登録サークル等社会教育関係団体の活性化と自主的な運営を支えるための支援を行います。

また、体験会実施の働きかけや講座等の講師を積極的に依頼するとともに、各種行事への参加を呼びかけ、サークルの活性化に向けた取り組みを支援します。

②人と人をつなぐ社会教育の充実を図ります

(7) 市民への学習機会の提供と地域と連携した公民館活動の充実

市民の幅広い学習ニーズに応える社会教育の拠点として、社会教育推進員等の参画により、それぞれの地域の特性に応じた学級・講座を開催します。また、地域の活動拠点として、関係行政機関や地域の各種団体、公民館登録サークル等と連携・協働を図るとともに、公民館運営審議会の意見を聴きながら引き続き事業運営にあたります。

市民会館では、「さわやかセミナー（働きざかりの男塾）」を社会教育推進員の企画により引き続き実施し、現役世代の男性の地域デビューと公民館の利用の促進について検討します。

平川公民館では、庭木の手入れに必要な知識や技能を身につけ、生活の向上に役立てていくことを目的に、「庭木の手入れ入門講座」をシルバー人材センターとの共催で引き続き実施します。また、庭園について多少経験のある成人を対象に「庭木ステップアップ講座」を開催し、古くなった木の切り直しや、再整備が必要な庭園の対処法などを、富岡分館を会場にして学習します。

また、ユースカフェ『3あい「であい まなびあい わちあい」事業』は、若い世代の自然な出会いと交流を目指した事業4年目の総まとめとして実施し、地域での有志活動に繋げていくきっかけを作っていきます。

長浦公民館では、「自分の地域は自分でつくる！地域支援づくり事業」として、長浦地区住民会議ながうら青空の会と共催し、公民館で地域住民が気軽に交流で

きる「溜まり場」などを開催し、後継者となる人材の掘り起こしをはじめとする地域支援の仕組みづくりについて引き続き検証するものです。

根形公民館では、地域の課題や生活上の課題、現代的課題に今まで以上に積極的に取り組み、学習者自身が課題を認識し、住民主体の活動へ展開を図る「地域づくり推進事業」を新たに開設します。

平岡公民館では、地域の子どもからお年寄りまでの方たちが一緒になって楽しい時間を過ごすことを目的として、「ひらおかハッピータイム(世代間交流事業)」を昨年度に引き続き実施します。

(イ) 利用者ニーズに沿った施設の改修と整備

市民が利用しやすく安心して安全な施設を提供するために安全点検日を設け、施設の定期的な安全点検を実施し適切な維持管理に努めます。

また、市民会館の老朽化した中ホール棟の外壁屋根等の改修や平岡公民館のエレベーターの改修工事を実施するなど、来館者の安全確保を図ります。

災害時には地域住民の避難所、福祉避難所としての機能を果たすため、その円滑な運営に向けて避難訓練を含めた準備等を継続します。

根形公民館では、以前から利用者の要望があった陶芸窯1基の更新を行います。

③地域に根ざす文化・芸術活動を推進します

(ア) 文化・芸術振興のための市民活動の支援

市民会館・公民館では、市民だれもが郷土の芸術に親しみながら教養を高め、創造することを楽しむとともに、社会教育関係団体等の発表機会や交流の場を提供します。

さらに、文化芸術活動の振興として、社会教育関係団体等との共催による文化・芸術事業を展開します。

市民会館では、引き続き音楽協会との共催による「市民音楽フェスティバル」と文化協会との共催による「芸能文化まつり」を開催します。また、公益財団法人千葉県文化振興財団との共催による「親子 de オペラ鑑賞デビュー」についても引き続き開催し、次代の文化の担い手の育成を図ります。

長浦公民館では、わが国の伝統音楽である邦楽を子どもや市民が自ら演奏して楽しむ機会を提供するため「長浦ジュニアお琴・尺八教室」を開催するとともに、音楽協会の団体と連携し、子どもの文化芸術活動の充実と邦楽の継承者育成を図ります。

根形公民館では、実行委員会が主体となり「サークル作品展」を開催し、主催事業や公民館を拠点として活動する芸術・工芸分野のサークルの学習成果を発表する機会とします。

平岡公民館では、文化・スポーツまつり以外に芸能サークルの発表機会を提供することで学習意欲を高めるとともに、サークルの活動を促進することを目的に、サークル発表会を実施します。

目標3：市民のニーズに応じた市民会館・公民館づくり

①公民館運営審議会の充実

公民館事業の企画や公民館の諸課題について提案をし、公民館運営審議会の意見を反映しながら公民館運営の充実を図ります。

②運営評価への取り組み

「第二期袖ヶ浦市教育ビジョン」に掲げた目標、施策を実現するため各館で行っている事務事業について、その事務の運営・執行状況がどのようなものであったかを点検・評価するため、各年度が終了した後に「施策の取り組み状況」シートを作成し、当該年度の点検・評価を行います。

事業の成果・効果をもとに、課題や対応などを考察し、今後の事務事業の効果的でよりよい運営に反映していきます。

③職員の資質の向上

公民館職員の資質の向上のため、君津地方公民館連絡協議会などの研修に積極的に参加します。また、各館の事業担当者による会議や研修会等により職員間の情報共有と新任職員への事業運営や施設管理の基本的な知識の習得を図ります。

④公民館施設の利用促進

ロビーなど誰でも利用できる場所をオープンスペースとして開放して、子どもから高齢者までの学習や憩いの場を提供し、公民館施設の利用を促進します。

フリースペースやロビーを、学習スペースなどに開放するなどして、子どもの居場所を確保するほか、空室などを授乳スペースなどに提供します。また、酷暑日においてはクールシェアリングを実施するなど、各公民館が地域の住民にとって身近で、人の集まる、地域の拠点としての公民館をめざします。

平成31年度市民会館・公民館事業(案)

	市民会館	平川公民館	長浦公民館	根形公民館	平岡公民館
青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室	子どもクラブ	わんぱく教室	子ども絵画教室	ひらおか子ども教室
	ファミリー劇場		長浦ジュニアお琴尺八教室	花まる絵画教室	
	世代間交流事業			ねがたオープンキャンパス	
家庭教育総合推進事業	乳幼児家庭教育学級(根形と合同)	幼児家庭教育学級(平岡と合同)	幼児家庭教育学級	乳幼児家庭教育学級(市会と合同)	幼児家庭教育学級(平川と合同)
	地域家庭教育学級	地域家庭教育学級	地域家庭教育学級	地域家庭教育学級	地域家庭教育学級
	中学校家庭教育学級	中学校家庭教育学級	中学校家庭教育学級	中学校家庭教育学級	
	親業訓練入門講座			ワーキングママ支援講座	
成人教育推進事業	女性セミナー	女性セミナー	女性セミナー	成人絵画教室	わくわく女性倶楽部
	さわやかセミナー	ものづくり講座	男性セミナー	地域再発見講座	国際理解セミナー
	舞台コーディネーター養成講座	園芸講座	健康生き生き塾/ながうら雑学塾	地域づくり推進事業	ひらおかハッピータイム
	単発講座	庭木の手入れ入門講座	お正月飾りづくり講習会		男性のための料理教室
高齢者いきがい促進事業	昭和ふれあい教室	うぐいす学級	長浦さわやかスクール	根形ニコニコ教室	ひらおかシニアセミナー
各種行事推進事業	市民会館まつり	公民館まつり	公民館まつり	公民館まつり	文化・スポーツまつり
	市民音楽フェスティバル	ロビー展示	ロビー展示	根形公民館サークル作品展	サークル発表会
	芸能文化まつり			ロビー展示	ロビー展示
	ロビー展示				
公民館地域連携推進事業	地域で取り組む高齢者講座、防災に関する講座、初級パソコン講座・スマホ安全教室、登録サークル等を講師とした講座(根形を除く)				
成人式実施事業	成人式	成人式	成人式	成人式	成人式
まち・ひと・しごと創生関連事業	花咲け！女性シェフ応援事業	ユースカフェ	自分の地域は自分でつくる！ 地域支援づくり事業		
青少年健全育成事業	青少年相談員支部活動	青少年相談員支部活動	青少年相談員支部活動	青少年相談員支部活動	青少年相談員支部活動
	子ども会支部活動	子ども会支部活動	子ども会支部活動	子ども会支部活動	子ども会支部活動
	地区住民会議 (坂戸の森みどりの会)	地区住民会議 (中富ふれあいの会)	地区住民会議 (長浦あおぞらの会)	地区住民会議 (根っ子の会)	地区住民会議 (名幸ヶ丘の会)
	公民館運営審議会	公民館運営審議会	公民館運営審議会	公民館運営審議会	公民館運営審議会
その他	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会
	社会教育推進員活動	社会教育推進員活動	社会教育推進員活動	社会教育推進員活動	社会教育推進員活動
	館報発行・ホームページ更新	館報発行・ホームページ更新	館報発行・ホームページ更新	館報発行・ホームページ更新	館報発行・ホームページ更新

平成31年袖ヶ浦市成人式実施結果

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標を掲げ、袖ヶ浦市の成人式を開催した。市民会館・長浦公民館・根形公民館・平岡公民館の4会場に分かれて実施した結果は下記のとおりである。

1. 実施状況

昭和・蔵波・根形・平川地区は1月13日（日）午前9時30分から受付、10時30分から式典。長浦地区は午後0時45分から受付、午後1時30分から式典。式典終了後は、それぞれの会場で記念撮影やビデオレターなどの記念行事を実施し終了した。

2. 式典出席者

地 区	対 象 者			出 席 者			出席率%	前 年 出席率%
	男	女	計	男	女	計		
昭和地区	106	91	197	71(11)	61(5)	132(16)	67.0	72.5
長浦地区	56	57	113	37(5)	49(8)	86(13)	76.1	75.4
蔵波地区	84	77	161	62(10)	55(4)	117(14)	72.7	81.5
根形地区	31	30	61	26(1)	25(2)	51(3)	83.6	87.8
平川地区	66	56	122	54(7)	47(3)	101(10)	82.8	79.4
計	343	311	654	250(34)	237(22)	487(56)	74.5	77.8

対象者には、地元中学卒業の市外転出者含む（カッコ内は市外転出者の出席者数で内数）

5年間の推移

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
対象者数(人)	676	627	684	640	654
出席者数(人)	524	485	533	498	487
出席率(%)	77.5	77.4	77.9	77.8	74.5

3. 記念行事

各館で行われた記念行事の内容と参加人数は次のとおりである。

【昭和地区】

会 場 市民会館
 内 容 立食パーティー（500円会費）・ビデオレター
 記念撮影（1,000円）
 参加人数 127人（恩師11人を含む）

【長浦地区】

会 場 長浦公民館
 内 容 恩師からのお祝いの言葉・記念撮影（1,000円）

参加人数 86人

【蔵波地区】

会場 長浦公民館
内容 思い出のアルバム、ビデオレター、恩師からのお祝いの言葉
記念撮影（1,000円）
参加人数 117人

【根形地区】

会場 根形公民館
内容 祝賀パーティー（思い出のDVD上映）
小学校へデジタルカメラを寄贈
記念撮影（1,000円）
参加人数 50人

【平川地区】

会場 平岡公民館
内容 ビデオレター
新成人の主張
記念撮影（1,000円）
参加人数 101人

4. その他の参加者

地区	来賓 (実行委員は除く)	実行委員	職員 (実行委員は除く)	その他	計
昭和地区	17	6	3	12	38
長浦地区	9	7	2	18	36
蔵波地区	10	7	2	20	39
根形地区	6	8	2	12	28
平川地区	18	11	3	4	36
計	60	39	12	66	177

※ 来賓には案内者（主催者）を含む。

※ 実行委員には、新成人は含まない。

※ その他は、社会教育推進員、青少年相談員などの会場設営協力者

5. 記念品

平成28年度に行った全地区の新成人実行委員による検討会議において、平成29年から平成31年までの3年間はガウライラスト入りフォトフレームにすることに決定し、当日に配付を行った。

6. まとめ（目標に対する結果）

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標に対する結果は下記のとおりである。

【昭和地区】

当日は、おだやかな快晴のもと、受付開始とともに少しずつ新成人が来場した。会場への案内係として実行委員以外の新成人の協力により受付も滞りなく、スムーズに式典を開始することができた。

また、式典についても、新成人代表の進行により厳粛な雰囲気の中で実施できた。新成人代表挨拶では、これから社会人として自覚をもって行動していくことやオリンピックに向け社会に貢献できる人を目指すなど、これから実社会への一員として活躍する強い意志が感じられた。

記念行事は、会場を中ホールに移し、新成人企画の小中学校時代の恩師を招いた立食パーティーとビデオレター上映を行い、とても和やかな雰囲気の中で実施された。新成人実行委員が中心となり段取りを回り、恩師へのメッセージカード作成や花束贈呈など新成人による主体的な運営ができ、とてもよい成人式になった。

【蔵波地区】

天候に恵まれ、晴れ晴れとした成人式となった。開式直前までは、賑やかな様相であったが開式以後は、会場全体が儀式にふさわしい雰囲気となり、成人としての自覚がうかがえた。新成人代表の挨拶もしっかりとしたもので、かつまたオリジナリティー溢れるもので、成人としての自覚が十分に伝わるものだった。

記念行事では、実行委員が手作りしたスライドショーと当日参列できなかった数名の恩師のビデオレターが上映された。さらに、式典から臨席いただいた3名の恩師のスピーチがあり、温かな雰囲気の中で記念行事が進行した。特に手をかけたスライドショーの音声をワイヤレスマイクで拾おうとしていたのを公民館職員がサポートし機材に接続してあげると、力作がより迫力あるものとなった。「ありがとうございました。おかげさまで・・・」という言葉に好ましき大人らしさが伝わってきた。スタッフもサポートしがいを感じた。

式典は、しっかりと進行できたし、記念行事は新成人の希望に溢れる充実したものとなった。

当初、想定された午後の部との入れ替えも、大きな混乱もなくスムーズに午後の準備に入ることができた。

【長浦地区】

午後も快晴が続き、穏やかな日差しは絶好の成人式日和となった。家族席は両親での出席が多いことからほぼ埋まった。

開式から静粛な雰囲気が保たれ、今日の日を迎えるにあたっての多くの方々への感謝

と成人となってこれからの人生に対する決意を表明する代表挨拶やご本人が感極まってしまふ来賓祝辞など素晴らしい式典となった。

記念行事は、当初予定していたビデオレターが必要なく、小学校6年生時、中学校3年生時の恩師全員にサプライズとして来ていただけた。小学校の恩師3名、中学校の恩師7名の計10名がステージに待機し、緞帳が上がった時には、大きな歓声が上がった。充実した記念行事となったことにそれまでの実行委員の苦勞が報われた。同時に、10名の恩師も新成人としての立派さと成長を慶びとともに感じ取っていた。

二つの地区の成人式を挙げるにあたって、その準備、当日運営、後片付けには社会教育推進員、青少年相談員など多くの地域の方々のご支援ご協力がなければ、このような充実した立派な式ができないことを大いに感じた。

【根形地区】

記念式典は、厳粛に行われた。新成人代表挨拶をはじめ、司会や国歌斉唱の指揮、伴奏、主催者挨拶などの話を聞く新成人の姿は、とても立派であり、会場で見守った家族や恩師は、その成長を強く感じていた。

式典後、新成人自らで企画した祝賀パーティーが開催された。小学校・中学校時代の映像視聴、旧友たちとの会話、恩師からの励ましの言葉は、新成人にとってかけがえのないものとなった。また、ねこまろを企画・運営するN.O.Cが、活動PRを行った。これをきっかけに、先輩後輩といった縦のつながりが築かれ、活動の活性化につながればと思う。

なお、かずさFM「かずさどこでもラジオ」の生中継もあり、新成人へインタビューが行われた。

祝賀パーティー後、第2回実行委員会議を開催した。新成人からは、成人式までの準備、当日の運営に対する感謝の言葉が伝えられた。新成人以外の実行委員からは、とても素敵な成人式で感動した、生まれ育った郷土に感謝し、恩返しをしていって欲しいなどのメッセージが伝えられた。

【平川地区】

記念式典では、実行委員として進行や国歌斉唱の指揮・伴奏などを担当した新成人がそれぞれの役割を立派に果たし、厳粛な雰囲気の中で進めることができた。

記念行事はビデオレターと新成人の主張を行った。ビデオレターでは小中学校の恩師からのメッセージを上映した。恩師の映像が切り替わるたびに新成人から歓声が上がった。新成人の主張では代表者4名が登壇し、これまで育ててくれた両親や地域の方々、先生方に対しての感謝の手紙を読み上げた。

前年同様にホール右側の壁面に簡易スクリーンを設置することで見やすかった。

家族席も90席用意した9割が埋まり来場した関係者にも好評をいただけた。

多くの保護者、地域の方々、そして恩師に見守られながら、厳かな式典と若者らしい希望溢れる記念行事ができた。